

あらまし

一庫ダムの湖水面に突き出た緑豊かな半島「知明山」に、兵庫県立一庫公園が誕生しました。この知明山はダム建設当時、川西市土地開発公社が買収するとともに、民間資本の導入による休暇村などの建設が計画されました。しかし、このあたり一帯は近畿圏の近郊緑地保全区域や猪名川渓谷県立自然公園にも指定され、かけがえのない自然環境が残っており、川西市は緑の保全と利用の両面から県立都市公園の整備を県に要請しました。これを受けて県は昭和57年度に県立一庫公園として都市計画決定するとともに、知明山48.2haについて事業を進めました。

こうした背景から、緑の保全がこの公園の大切な役割ですが、地域の課題であるダム湖の環境保全にも配慮した公園整備が重要です。また、自然環境の保全には何よりも自然に親しみ、自然を理解することが欠かせません。そのため、公園を自然学習の場としても位置付け、自然と人、さらに人と人との出会いの場として整備されました。

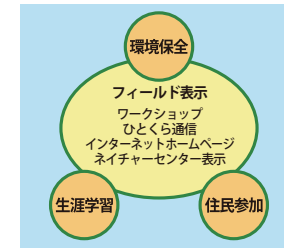


Nature Center

ネイチャーセンター 管理事務所 救護室兼授乳室などがあります。また、車椅子の貸出し、落とし物の問合せ、団体利用の受け付け、会議室の貸出し業務なども行っています。



ネイチャーセンター



ネイチャーセンターを拠点としたワークショップによる運営と情報提供



ワークショップルーム外観

情報コーナー



中会議室



大会議室

■会議室利用ご案内 (令和元年10月1日改正)

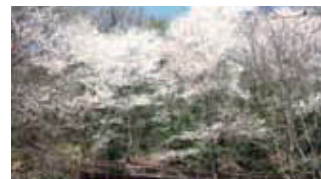
施設名	区分	定員	使用料		
			9 - 12時	13 - 17時	9 - 17時
会議室	大	40名	1,300円	2,300円	3,400円
	中	15名	800円	1,300円	1,900円

但し、営業行為を伴う場合は表記料金の2倍になります。

自然観察の森

エドヒガン(サクラ)の群落が「天然記念物」に、間歩(鉱山の坑道)跡が「史跡」として、平成27年9月に川西市指定文化財に指定されました。

天然記念物
国崎字知明・卯ノ戸エドヒガン群落
史跡
多田銀銅山国崎字知明・卯ノ戸坑道群



エドヒガン(サクラ)

炭焼き窯

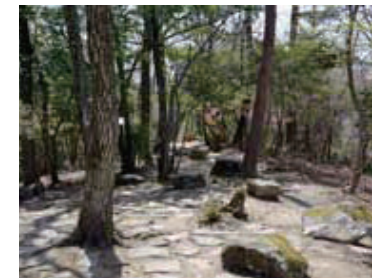
一庫公園周辺はかつて茶の湯で有名な一庫炭(菊炭)の生産が行われてきた里山が残っており、園内各所に炭焼き窯跡が点在しています。公園では地域の伝統・文化を継承していくため、実際に炭焼きができる炭焼き窯を使い、冬場には炭焼き体験のワークショップが行われています。



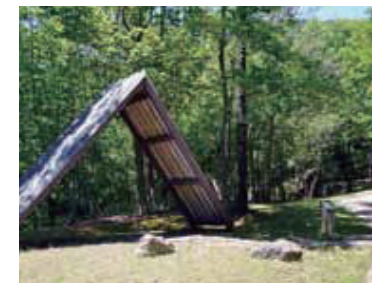
キャノビーウォーク
長さ60m高さ16mの自然観察路



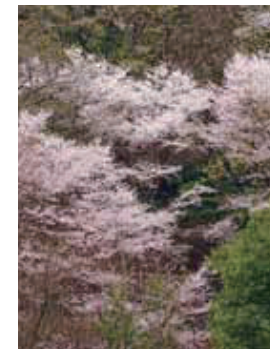
間歩跡



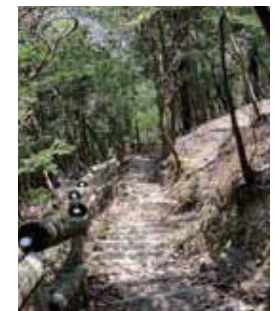
こもれ陽広場
知明山頂標高349m。現況林が残る山頂広場



松林の休憩所
マツなどの木立ちに囲まれた芝生の休憩所



エドヒガン(サクラ)



500段階